

テールアルメ工法

施工要領書

鉛直目地
コンクリートスキンタイプⅡ

J F E 商事テールワン株式会社

目 次

| | | |
|--------------------|-------|----|
| 1. コーナースキンとは | ----- | 1 |
| 2. タイプ別形状寸法図 | ----- | 2 |
| 3. コーナースキンの組立方法 | ----- | 4 |
| (1) 墨出し | ----- | 4 |
| (2) コーナースキンの設置 | ----- | 5 |
| (3) コーナースキンの固定 | ----- | 6 |
| (4) 施工延長調整方法 | ----- | 6 |
| (5) ジベル棒の取り付け | ----- | 7 |
| (6) 透水防砂材の設置 | ----- | 8 |
| (7) 水平目地材の設置 | ----- | 9 |
| (8) 2段以降コーナースキンの組立 | ----- | 10 |

1. コーナースキンとは

コーナースキンとは、テールアルメ工の折れ曲がり部分をはじめ、支持力が大きく異なる地盤をまたいで壁面を構築する場合に設ける鉛直目地また、施工中の延長の誤差を調整する施工目地部等に用いられる部材です。特に、鉛直目地や施工目地に用いられるコーナースキンは、以下の2タイプがあります。

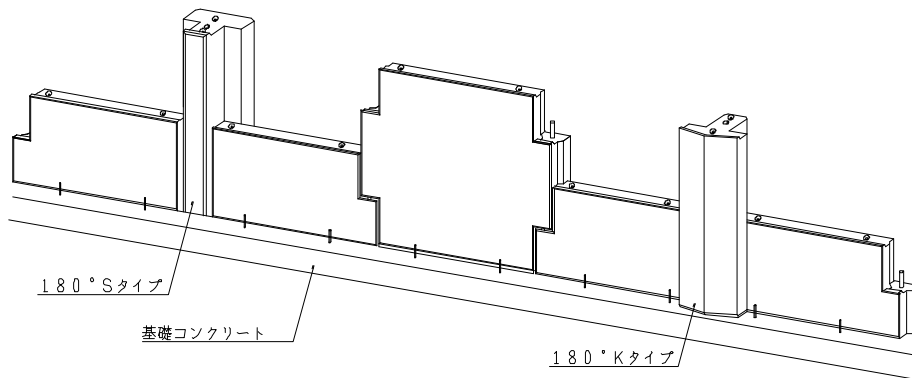


図-1 鳥瞰図

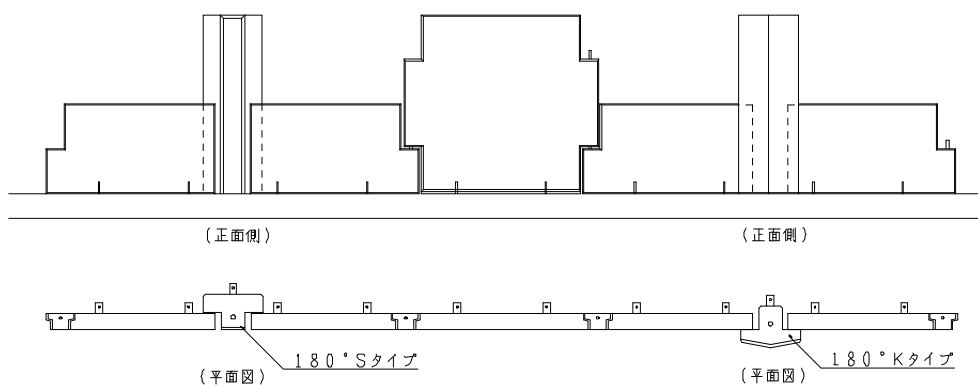
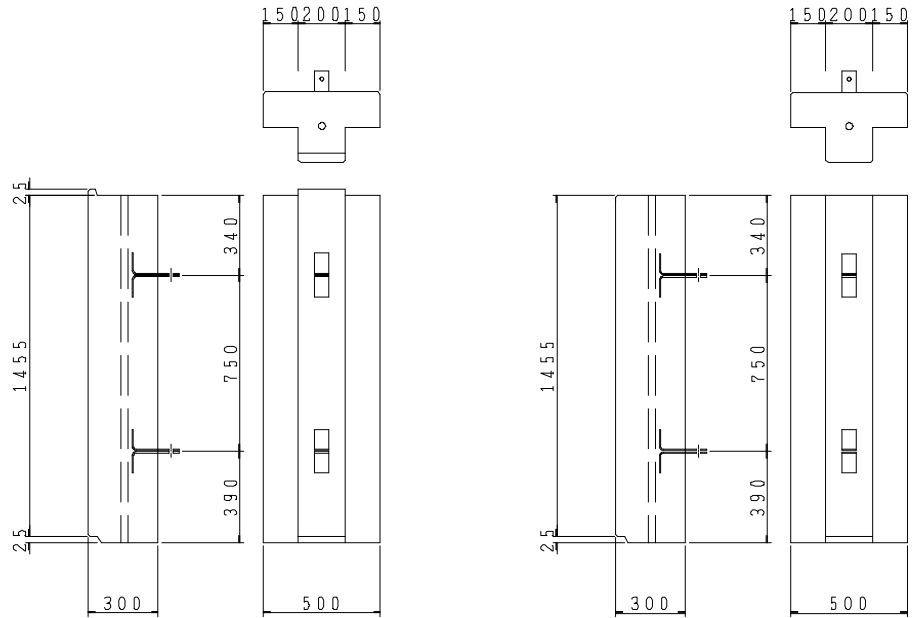


図-2 コーナースキン (180° S, 180° K) 配置図

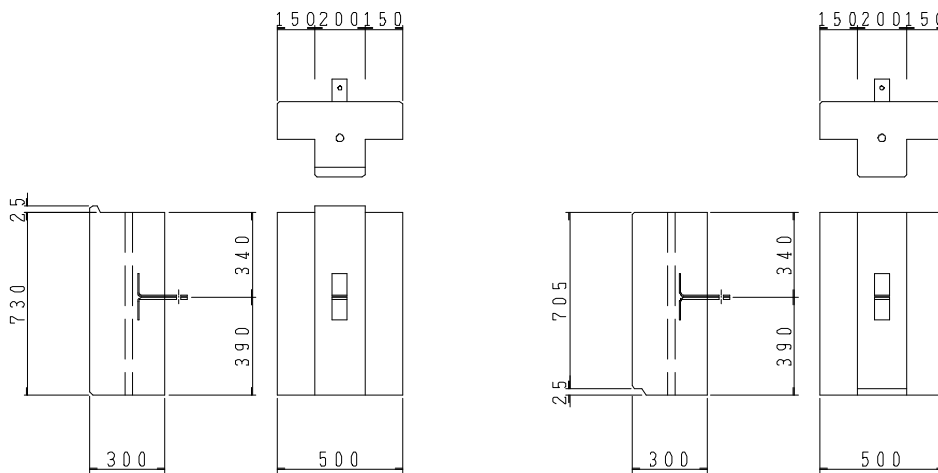
2. タイプ別形状寸法図

- (1) 180° Sタイプスキン（壁体前面に凸部がなく、テールアルメ壁前面が同一面となる。）



(Aタイプ)

(Bタイプ) -天端用

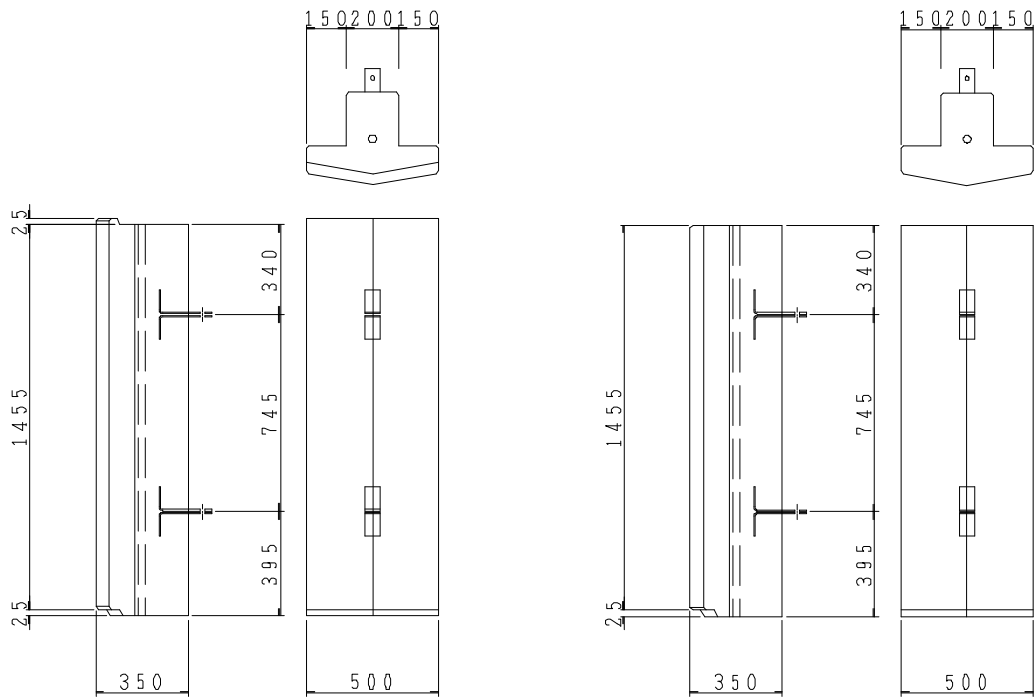


(Cタイプ)

(Dタイプ) -天端用

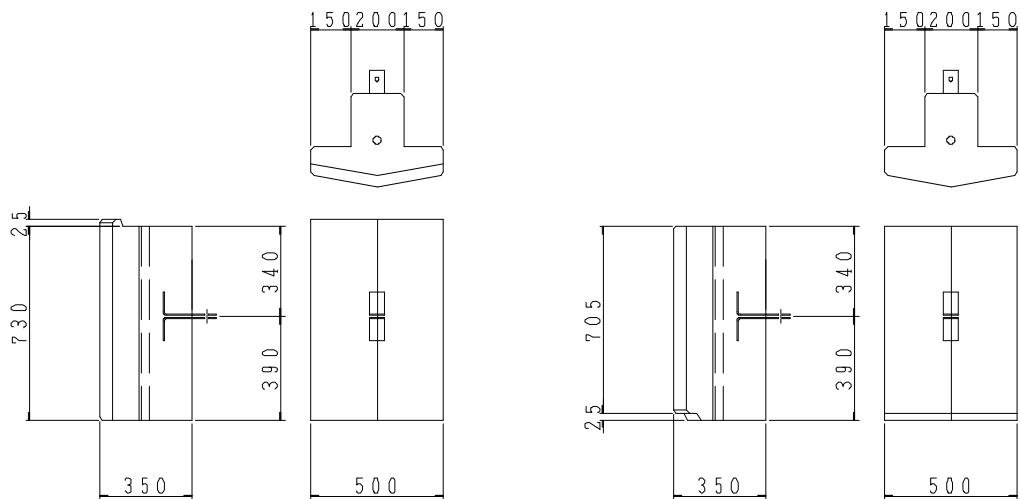
図-3 180° Sタイプスキン図

(2) 180° Kタイプスキン（コーナー部分に凸部があり、テールアルメ壁前面は同一面とならない。）



(Aタイプ)

(Bタイプ) ー天端用



(Cタイプ)

(Dタイプ) ー天端用

図-4 180° Kタイプスキン図

3. コーナースキンの組立方法

(1) 墨出し

基礎コンクリート上に次の手順にて、墨出しをします（図-5参照）。

- ① コンクリートスキン前面及び背面のライン
- ② コーナースキン中心線
- ③ コーナースキン柱体部外側のライン（中心線から100mm）
- ④ 左右に隣り合う袖なしスキン設置位置ライン

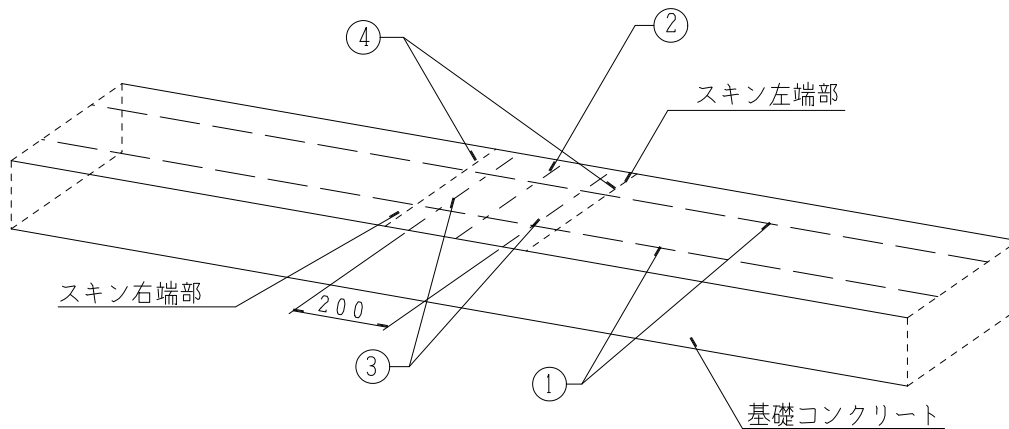


図-5 コーナースキンの墨出し位置

(2) コーナースキンの設置

(1) の墨出し線に沿ってコーナースキン及び袖なしスキンを設置します。
(図-6, 図-7 参照)

(I) 180° Sコーナーの場合

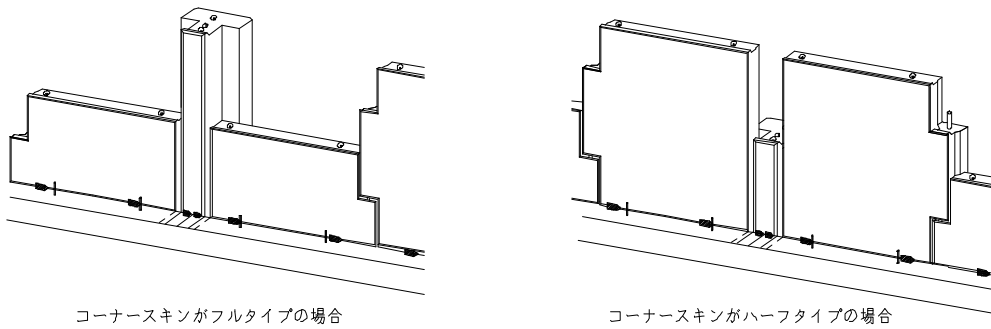


図-6 180° Sコーナー設置図

(II) 180° Kコーナーの場合

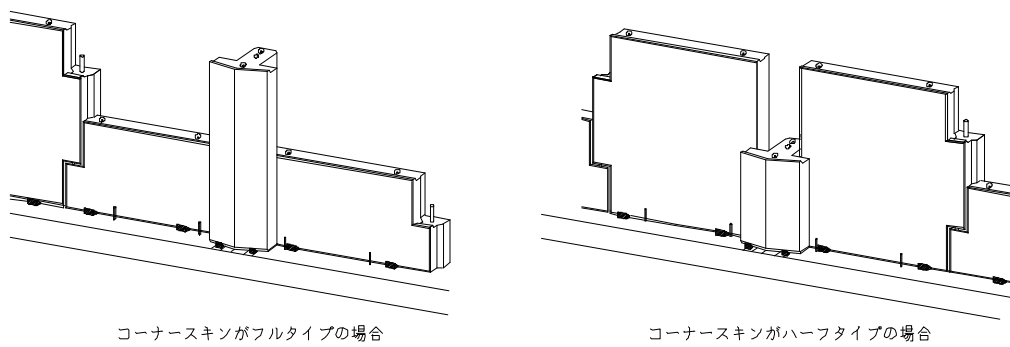
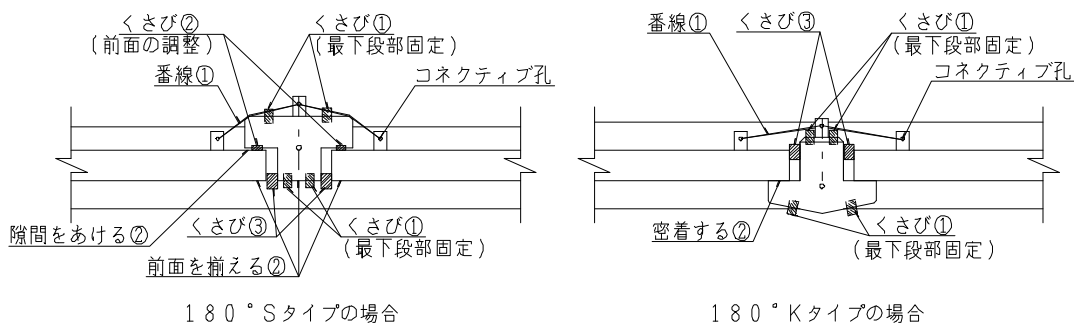


図-7 180° Kコーナー設置図

(3) コーナースキンの固定

コーナースキンの固定に際しての注意点は以下の通りです。

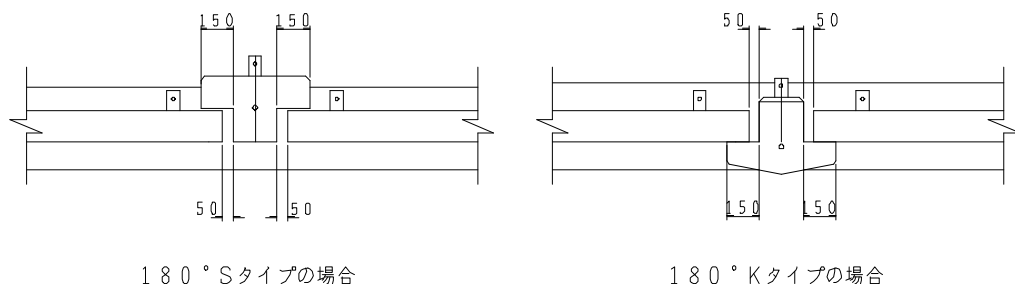
- ① コーナースキンは動きやすく、倒れやすい部材なので、くさびの使用とともに隣接スキンとの番線等による緊結により固定します（図－8参照）。
- ② 180° Sタイプスキンの場合、コーナースキンと隣接する袖なしスキンとは前面を揃えて設置します。調整には、袖なしスキン背面の隙間にくさびを使用します。180° Kタイプスキンの場合コーナースキンの翼部と隣接する袖なしスキンとはなるべく密着させ、隙間ができないように設置します。
注) 袖なしスキンとはスキン名にRまたはL（AR4，CL2等）を含んでいない片側の袖のない、コンクリートスキンをいいます。
- ③ コーナースキンの空隙目地部は美観を配慮した幅で、且つ横倒れを防止するくさびで仮固定をします。なお、コーナースキンがストリップ上の盛土により固定化された後は、くさびは撤去します。



図－8 コンクリートスキンの固定

(4) 施工延長調整方法

施工延長を調整する場合には、左右の目地幅（設計上の基本目地幅50mm）を適宜変更することによって調整します。この際も左右の目地幅は美観を損なわないように均等となるように設置します。



図－9 施工延長の調整

(5) ジベル棒の取り付け

コーナースキンを設置固定後に、コーナースキンのジベル孔にジベル棒を挿入します。この際、スキン上端より、75cm程突き出るように順番に注意して設置します。

注) ジベル棒はコーナースキン上に、次のコーナースキンを設置する際のガイドとして、また安全対策として設置するものです。

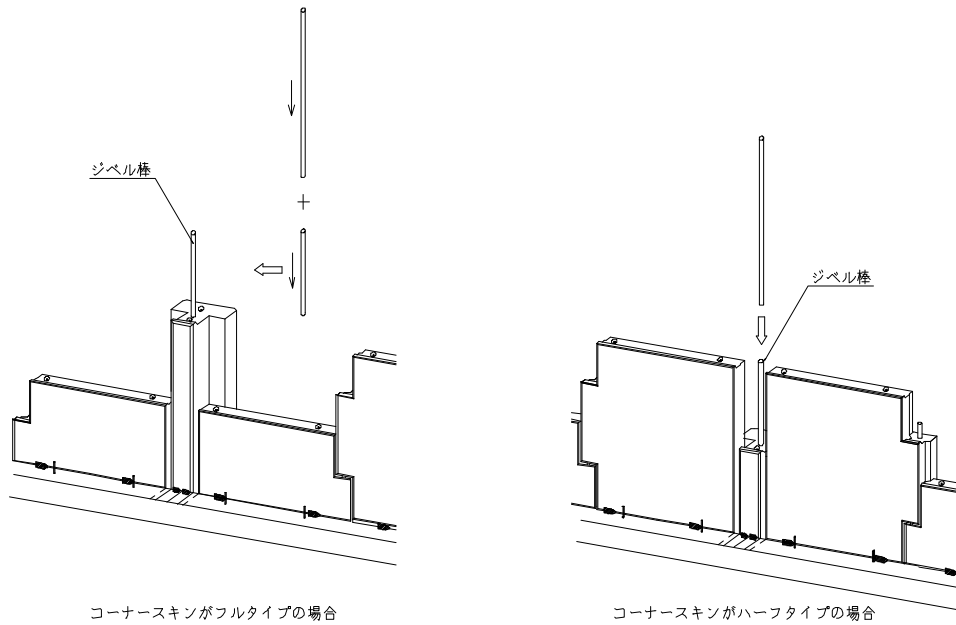


図-10 180° Sタイプのジベル棒の取り付け

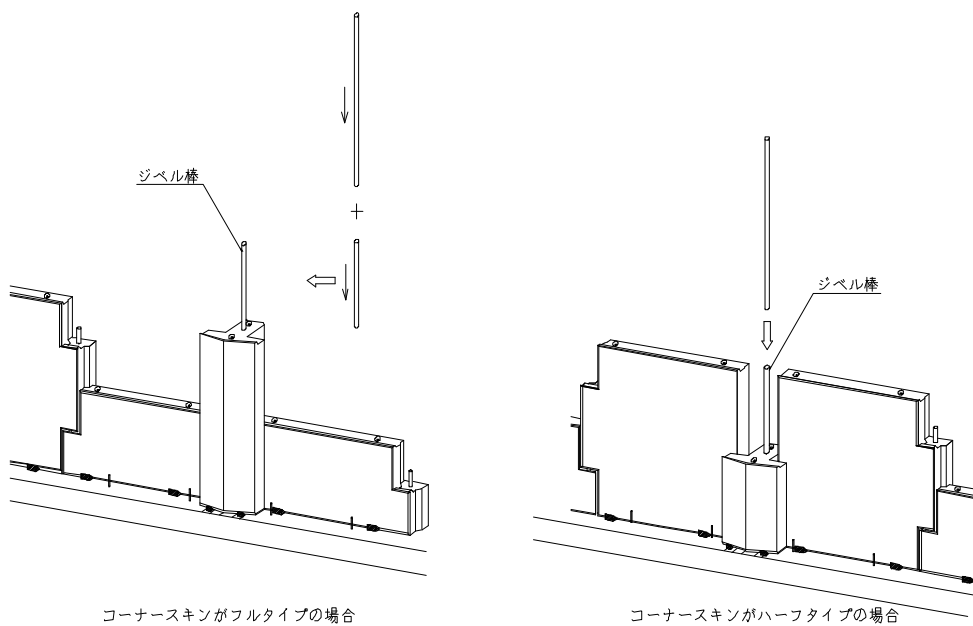


図-11 180° Kタイプのジベル棒の取り付け

(6) 透水防砂材の設置

透水防砂材は、盛土内に浸透した水をコンクリートスキンの鉛直目地から排水させる際に、盛土の流出を防ぐために用いるものです。透水防砂材の設置位置は図-12、図-13に示します。

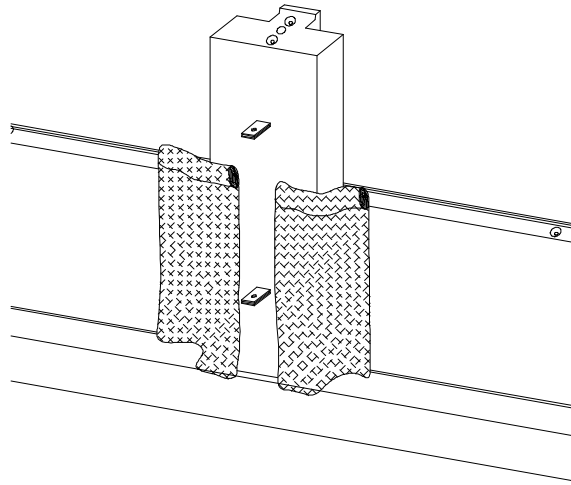


図-12 180° Sタイプの透水防砂材の設置

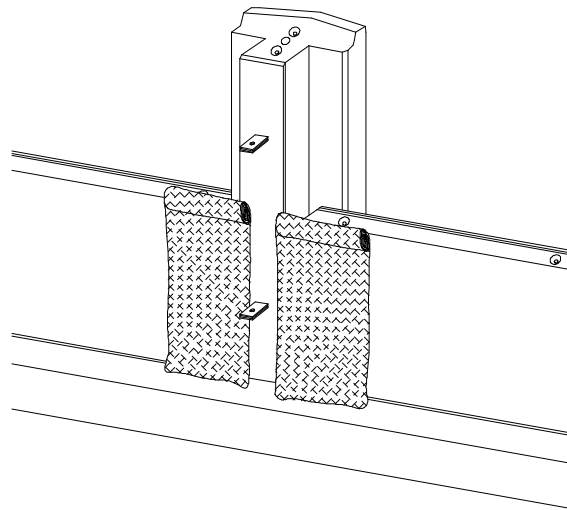


図-13 180° Kタイプの透水防砂材の設置

(7) 水平目地材の設置

水平目地材は図-14, 図-15のように分割して設置します。

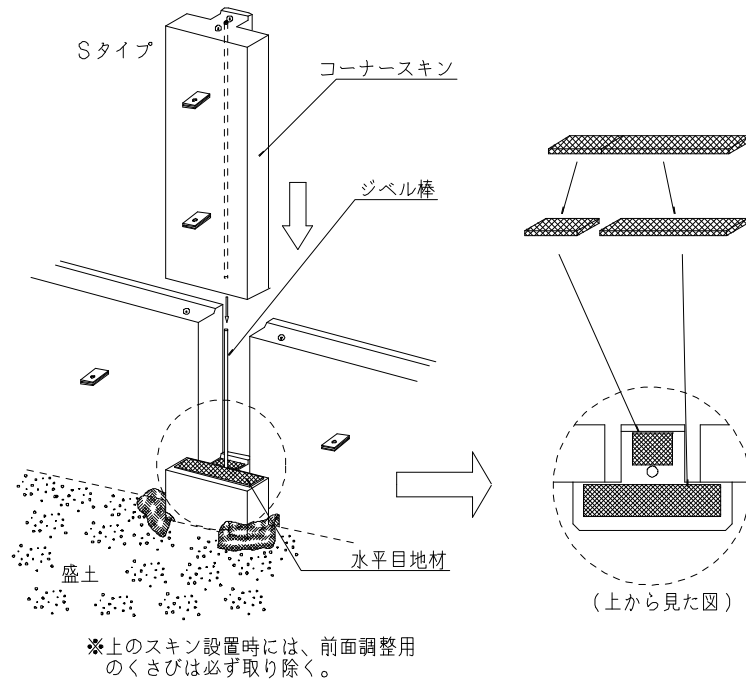


図-14 180° Sタイプの水平目地材の取り付け

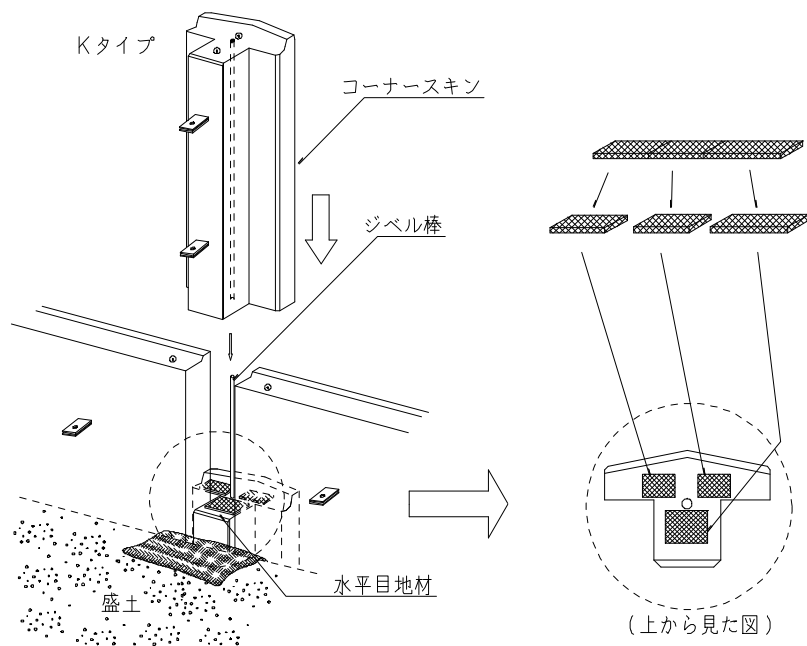


図-15 180° Kタイプの水平目地材の取り付け

(8) 2段目以降コーナースキンの組立

2段目以降は(3)、(5)、(6)、(7)の繰り返し作業となります。コーナースキン部は、他のスキンと形状が異なるため、大変目立つので特に注意して施工して下さい。以下に施工上の注意点を示します。

- ① 目地の開きが均等になるように注意する。
- ② 180° Sタイプスキンの場合、コーナースキンと隣接する袖なしスキンとは前面を揃えて設置します。調整には、袖なしスキン背面の隙間にくさびを使用します。180° Kタイプスキンの場合、コーナースキンの翼部と隣接する袖なしスキンとはなるべく密着させ、隙間ができないように設置します。
- ③ コーナースキンの縦の通りをあわせ、目違いのないように注意する。